

2021年3月期
第3四半期決算説明資料



物流から価値を。

三井倉庫グループ

2021年2月5日



- 説明資料内容
 - ▶ 2021年3月期第3四半期 決算内容
 - 2021年3月期 決算見通し
 - 参考資料



(1) 決算概要

(単位：百万円)

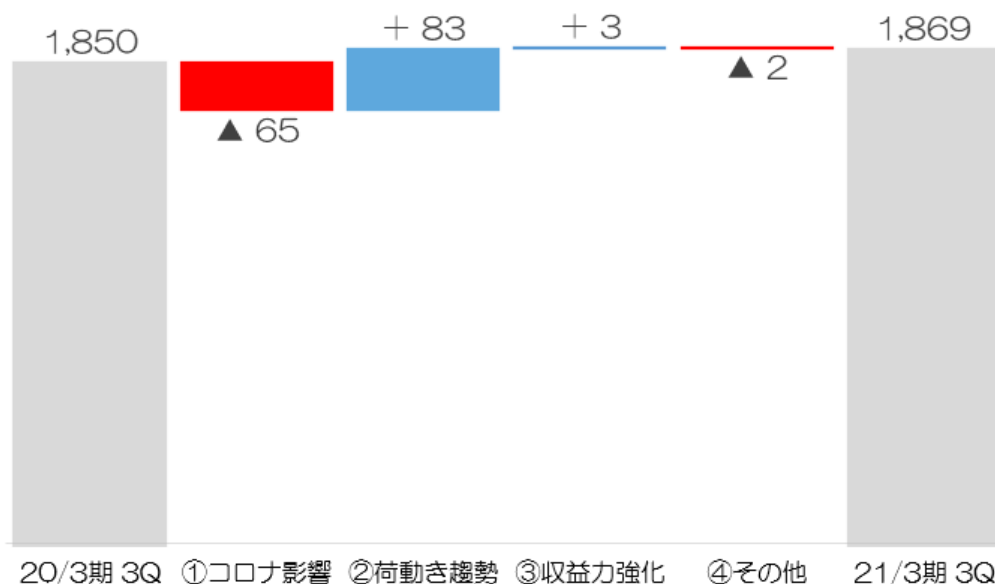
	連結合計	20/3期 3Q	21/3期 3Q	増減額	増減率
P L	営業収益	184,974	186,877	+1,902	+1.0%
	営業利益	10,383	13,494	+3,111	+30.0%
	経常利益	9,782	13,488	+3,705	+37.9%
	親会社株主に帰属 する当期純利益	5,407	7,925	+2,518	+46.6%
C F	営業CF	16,851	13,815	△3,036	△18.0%
	投資CF	△3,535	△3,812	△276	—
	財務CF	△11,904	△9,035	+2,868	—
	連結合計	20/3期末	21/3期 3Q末	増減額	増減率
B S	自己資本	49,705	60,112	+10,406	+20.9%
	総資産	239,309	246,031	+6,722	+2.8%
	自己資本比率	20.8%	24.4%	+3.7	—



(2) 営業収益（前年同期比）

- コロナ影響によるフォーワーディング（FWD）業務の取扱減はあったものの、巣ごもり消費拡大等に伴う家電メーカー物流等の取扱および顧客企業の生産回復に伴う各種荷動きの取り込みを行ったほか、自動車関連航空輸送の増加もあり全体としては前期比19億円増収の1,869億円となった。

（単位：億円）



（単位：百万円）

事業セグメント	20/3期 3Q	21/3期 3Q	増減額	増減率
物流事業	178,178	180,246	+2,068	+1.2%
不動産事業	7,344	7,160	△183	△2.5%
全社・消去	△547	△529	+18	—
営業収益合計	184,974	186,877	+1,902	+1.0%

①新型コロナウイルス感染症による影響（▲65）

- ↓：海上・航空FWD業務取扱減 : ▲54
- ↓：東南アジアロックダウンの影響によりアジア域内の物流取扱減 : ▲26
- ↓：業務用産業機器取扱減 : ▲17
- ↓：コンテナターミナル業務取扱減 : ▲14
- ↑：航空運賃高騰 : +31
- ↑：顧客企業の生産回復に伴う各種原材料の調達物流の取扱増 : +15

②荷動き趨勢等（+83）

- ↑：家電メーカー物流等 取扱増 : +44
- ↑：自動車関連航空輸送の増加 : +26
- ↑：中国国内物流等、海外における業務取扱増 : +14
- ↑：メーカー物流新規取扱 : +6
- ↑：医薬品物流 前期立上業務の通期寄与 : +7
- ↓：陸上貨物運送減 : ▲5
- ↓：その他 : ▲9

③前期取組の収益力強化施策 通期寄与（+3）

- ↑：適正料金収受 : +3

④その他（▲2）

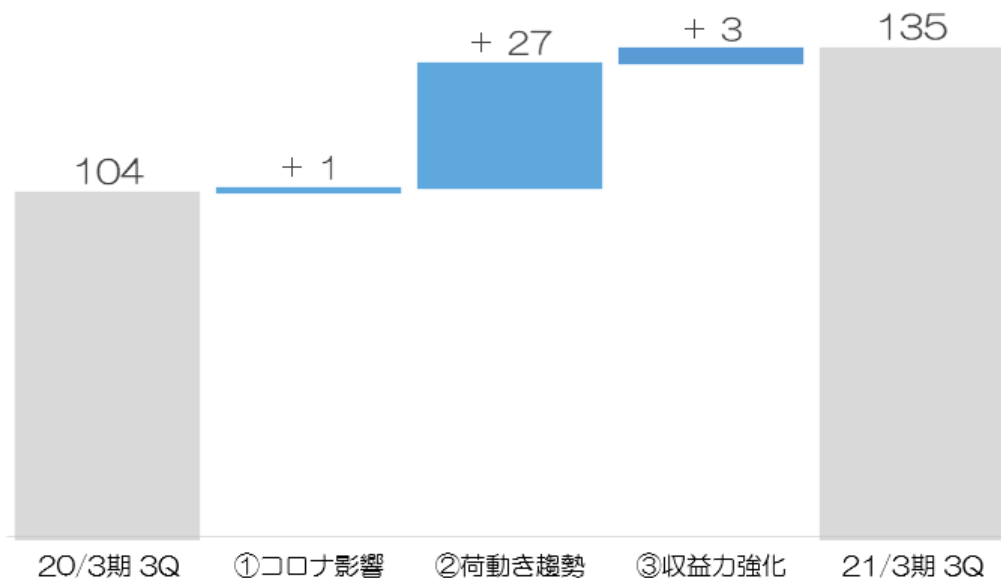
- ↓：賃料収入減 : ▲2



(3) 営業利益（前年同期比）

- 巣ごもり消費拡大に伴う家電メーカー物流等の取扱、顧客企業の生産回復に伴う各種原材料の調達物流等、環境変化に伴う需要の取り込みを行ったほか、自動車関連航空輸送の増加や、ソリューション型物流においてメーカー物流の新規取扱開始、医薬品物流の新規業務通期寄与等、注力分野においても利益を積み上げ、前期比31億円の増益となった。

(単位：億円)



(単位：百万円)

事業セグメント	20/3期 3Q	21/3期 3Q	増減額	増減率
物流事業	8,360	11,371	+3,010	+36.0%
不動産事業	4,366	4,332	△34	△0.8%
全社・消去	△2,343	△2,209	+134	—
営業利益合計	10,383	13,494	+3,111	+30.0%

①新型コロナウイルス感染症による影響（+1）

- ↓：海上・航空FWD業務取扱減 : ▲9
- ↓：東南アジアロックダウンの影響によりアジア域内の物流取扱減 : ▲7
- ↓：業務用産業機器取扱減 : ▲4
- ↓：コンテナターミナル業務取扱減 : ▲7
- ↑：航空運賃高騰 : +7
- ↑：顧客企業の生産回復に伴う各種原材料の調達物流の取扱増 : +7
- ↑：各種販管費等の減少 : +14

②荷動き趨勢等（+27）

- ↑：家電メーカー物流等 取扱増 : +14
- ↑：自動車関連航空輸送の増加 : +5
- ↑：中国国内物流等、海外における業務取扱増 : +6
- ↑：メーカー物流新規取扱 : +2
- ↑：医薬品物流 前期立上業務の通期寄与 : +2
- ↓：陸上貨物輸送減 : ▲2

③前期取組の収益力強化施策 通期寄与（+3）

- ↑：適正料金収受 : +3



(4) 営業外損益・特別損益（前年同期比）

- 金融収支の改善や、海外子会社においてコロナ関連の雇用維持助成金の受領があったことなどから、経常利益は前期比37億円増の134億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比25億円増益の79億円となった。

（単位：百万円）

連結合計	20/3期 3Q	21/3期 3Q	増減額	主な増減内容
営業利益	10,383	13,494	+3,111	
営業外損益	△601	△6	+594	金融収支の改善 : +61 海外子会社の助成金受領等 : +533
（内金融収支	△278	△217	+61	内 有利子負債圧縮による金利収支改善+76
経常利益	9,782	13,488	+3,705	営業利益の増加 : +3,111 営業外損益改善 : +594
特別利益	—	302	+302	政策保有株売却益等 : 302
特別損失	119	475	+356	前期 固定資産除却損 : 119 当期 子会社株式売却損 : 475
親会社株主に帰属する当期純利益	5,407	7,925	+2,518	経常利益の増加



(5) キャッシュフロー及びバランスシートの状況

- 利益の増加はあったものの、売上の増加や航空運賃の高騰に伴い売掛債権が増加し営業CFは前期比30億円の収入減となった。
- 前期より引き続き不要不急の投資を抑制するなか、当社の注力分野のヘルスケア専用の新設倉庫である関東P&MセンターⅡ（仮称）の建設代金の一部を支払ったものの、子会社株式の売却収入があったことから投資CFは前期並みとなった。

（単位：百万円）

連結合計	20/3期 3Q	21/3期 3Q	増減額	増減率
営業キャッシュフロー	16,851	13,815	△3,036	△18.0%
（減価償却費・のれん償却額	6,931	7,385	+453	+6.5%
投資キャッシュフロー	△3,535	△3,812	△276	—
（設備投資・株式取得	△3,733	△5,549	△1,815	—
財務キャッシュフロー	△11,904	△9,035	+2,868	—

連結合計	20/3期末	21/3期 3Q末	増減額	増減率
現金及び預金	21,872	23,279	+1,407	+6.4%
有利子負債残高	127,101	120,200	△6,900	△5.4%
ネットデット	105,228	96,921	△8,307	△7.9%
自己資本	49,705	60,112	+10,406	+20.9%
総資産	239,309	246,031	+6,722	+2.8%
自己資本比率	20.8%	24.4%	+3.7	—
ネットD/Eレシオ	2.1	1.6	△0.5	—



- 説明資料内容
 - 2021年3月期第3四半期 決算内容
 - ▶ 2021年3月期 決算見通し
 - 参考資料



(1) 2021年3月期決算見通し概要

(単位：百万円)

	連結合計	前回予想	21/3期 通期	前回予想比	増減率	(参考) 前年同期
P L	営業収益	234,000	244,000	+10,000	+4.3%	241,080
	営業利益	14,000	16,000	+2,000	+14.3%	11,808
	経常利益	13,800	15,500	+1,700	+12.3%	10,531
	親会社株主に帰属 する当期純利益	8,000	9,000	+1,000	+12.5%	6,395
C F	営業CF	18,500	18,500	—	—	21,112
	投資CF	△6,500	△6,500	—	—	△5,487
	財務CF	△12,500	△13,500	△1,000	—	△16,746
B S	連結合計	前回予想	21/3期末	前回予想比	増減率	(参考) 前期末
	自己資本	57,000	61,500	+4,500	+7.9%	49,705
	総資産	238,000	242,000	+4,000	+1.7%	239,309
	自己資本比率	23.9%	25.4%	+1.5	—	20.8%



(2) セグメント別営業収益・営業利益見通し

〔営業収益〕

(単位：百万円)

事業セグメント	20/3期 通期	21/3期 通期	前年同期比	増減率
物流事業	231,982	235,000	+3,017	+1.3%
不動産事業	9,833	9,500	△333	△3.4%
全社・消去	△736	△500	+236	—
営業収益合計	241,080	244,000	+2,919	+1.2%

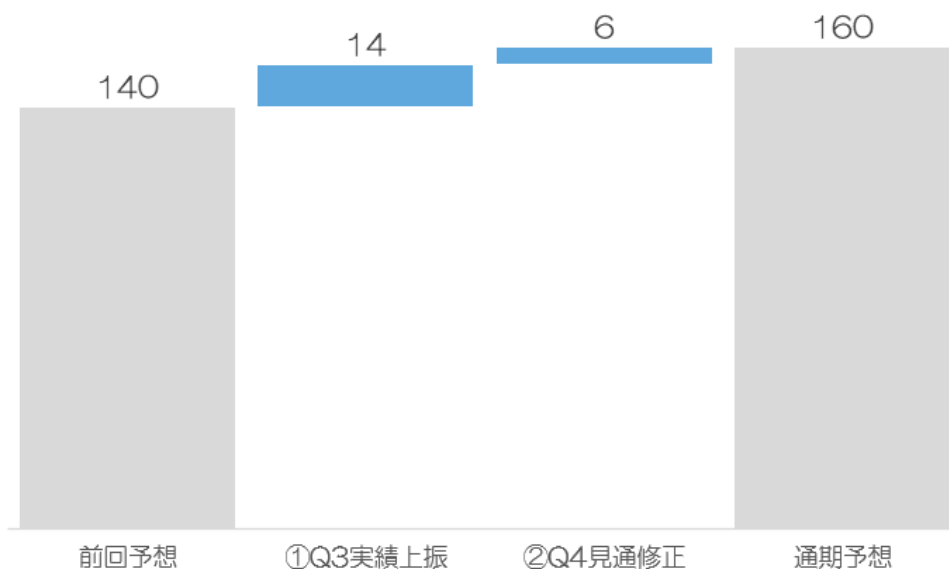
〔営業利益〕

事業セグメント	20/3期 通期	21/3期 通期	前年同期比	増減率
物流事業	9,105	13,500	+4,394	+48.3%
不動産事業	5,865	5,700	△165	△2.8%
全社・消去	△3,161	△3,200	△38	—
営業利益合計	11,808	16,000	+4,191	+35.5%



- 自動車関連航空輸送の増加、海上コンテナ不足による海上輸送から航空輸送へのシフト、巣ごもり需要による家電メーカー物流の好調な取扱が前回予想時の想定を上回ったことなどから、通期の業績予想を140億円から160億円に修正。

(単位：億円)



① Q3実績の上振れ (+14)

- ↑：自動車関連航空輸送の増加 : + 8
- ↑：メーカー物流の想定を上回る好調な取扱 : + 3
- ↑：中国国内物流の想定を上回る取扱増等 : + 3

① Q4見通しの修正 (+6)

- ↑：自動車関連航空輸送の増加 : + 3
- ↑：海上コンテナ不足に伴う海上輸送から航空輸送へのシフト : + 2
- ↑：メーカー物流の想定を上回る好調な取扱 : + 1

(単位：百万円)

事業セグメント	前回予想	今回予想	増減額	増減率
物流事業	11,500	13,500	+2,000	+17.4%
不動産事業	5,700	5,700	—	—
全社・消去	△3,200	△3,200	—	—
営業利益合計	14,000	16,000	+2,000	+14.3%



(3) 通期営業外損益・特別損益見通し

- 営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも過去最高益を見込んでおります。

(単位：百万円)

連結合計	20/3期 通期	21/3期 通期	前年同期比	増減率
営業利益	11,808	16,000	+4,191	+35.5%
営業外損益	△1,277	△500	+777	—
（内金融収支	△522	△450	+72	—
経常利益	10,531	15,500	+4,968	+47.2%
特別利益	807	500	△307	△38.1%
特別損失	365	500	+134	+36.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,395	9,000	+2,604	+40.7%



(4) 通期キャッシュフロー及びバランスシート見通し

12

- 投資CFはヘルスケア専用の新設倉庫である関東P&MセンターⅡ（仮称）の建設代金の支払い等の発生と、子会社株式の売却収入の発生により、差し引き前期比10億円支出増の65億円のキャッシュアウトを見込む。
- フリーキャッシュフローは有利子負債の返済に充当し、21年3月末の有利子負債残高は1,155億円、自己資本は615億円を見込む。

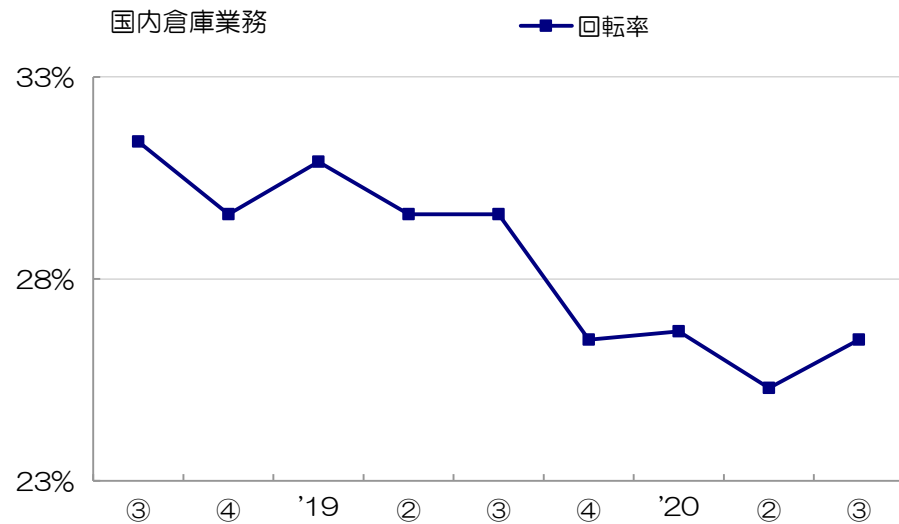
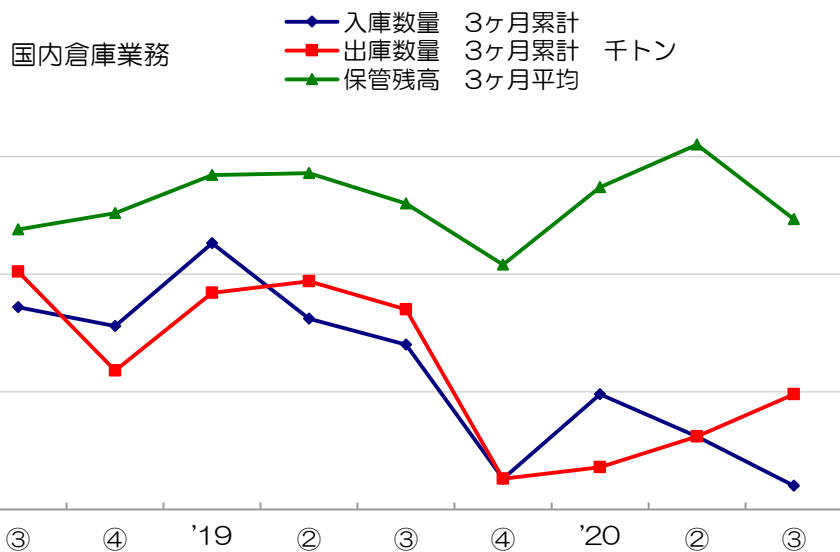
(単位：百万円)

連結合計	20/3期 通期	21/3期 通期	前年同期比	増減率
営業キャッシュフロー	21,112	18,500	△2,612	△12.4%
（減価償却費・のれん償却額）	9,444	10,000	+555	+5.9%
投資キャッシュフロー	△5,487	△6,500	△1,012	—
財務キャッシュフロー	△16,746	△13,500	+3,246	—

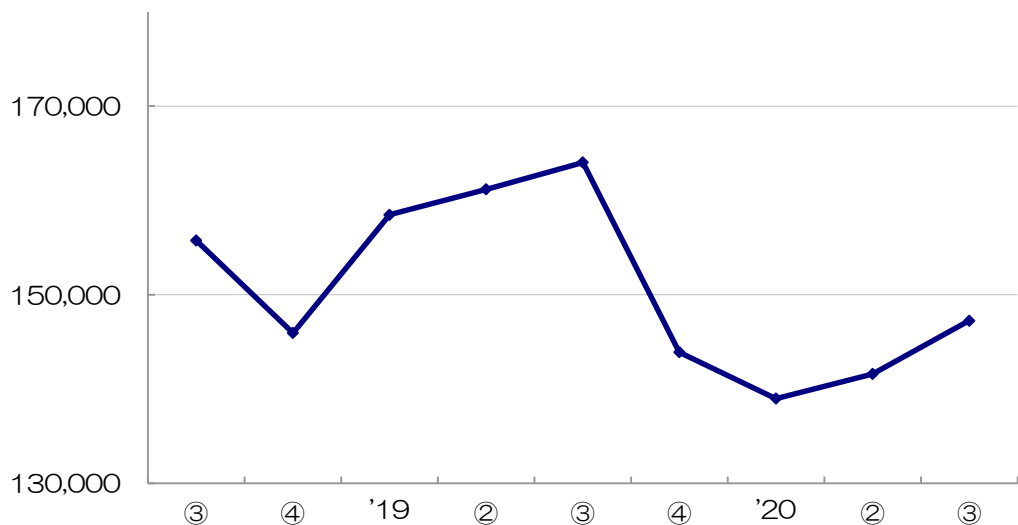
連結合計	20/3期末	21/3期末	前期末比	増減率
現金及び預金	21,872	20,500	△1,372	△6.3%
有利子負債残高	127,101	115,500	△11,601	△9.1%
ネットデット	105,228	95,000	△10,228	△9.7%
自己資本	49,705	61,500	+11,794	+23.7%
総資産	239,309	242,000	+2,690	+1.1%
自己資本比率	20.8%	25.4%	+4.6	—
ネットD/Eレシオ	2.1	1.5	△0.6	—



- 説明資料内容
 - 2021年3月期第3四半期 決算内容
 - 2021年3月期 決算見通し
- ▶ 参考資料

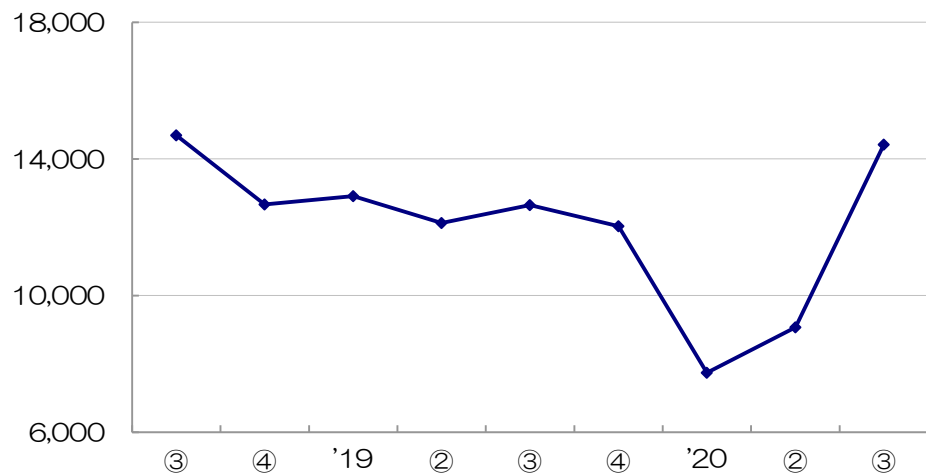


陸上貨物運送 貸切輸送 千トンキロ

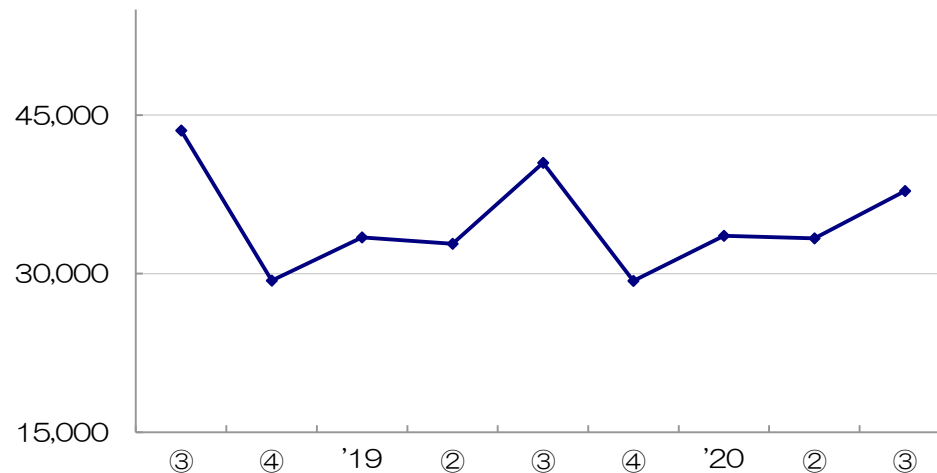




航空貨物輸送 輸出入 トン数



3PL 取扱数量 千個



物流事業地域別売上高

■日本 ■米州 ■欧州 ■東南アジア ■北東アジア

